



風光る

勇往邁進

校長 飯高 章

夏休みが終わり、1週間が過ぎた。この1週間は、連日体育祭の練習で校庭のあちこちから、実行委員や応援団を中心にした声が響いており、活気のあるエネルギーな毎日を送っていた。7月より念入りに準備してきた体育祭だけに一つ一つの演技、特に応援にかけける意気込みは、応援団が夏休み中にしっかりと案を練り、この9月初めの1週間の練習で微調整を繰り返す、そんな日々が続いた。それとともに夏休みの宿題が終わらない生徒に対する放課後の指導もあった。

私は改めて思ったのは実に多くの個々の力が一つの体育祭を作り上げるために頭と体と思いをフルに働かせながら協同で活動できる環境を生徒と職員とそして保護者でつくってくれているなど強く感じたことである。

閉会式の〇実行委員長の挨拶を聞いて更にその気持ちを強くした。それは、日々の母の姿をしっかりと見つめていなければ出ない挨拶であった。毎日洗濯機に放り込まれる泥だらけの体操服を黙々と洗い洗濯物を干す母親の姿、手際よく朝早くの朝食やお弁当の準備を黙々とこなす母の姿、その母の姿を興奮冷めやらぬ閉会式の場でその場に母がいるかのように述べてくれた。まさしく体育祭を通して周りの人の支えがあって体育祭ができるのだということを教えてくれた貴重な言葉であった。

また、応援団の姿から教えられたことも多くあった。紅組応援団長のU君の紅組優勝が決まった瞬間の姿、何もかも無我夢中で体育祭に打ち込んできた姿をこの瞬間が物語ってくれていたように思う。白組応援団長のK君の騎馬戦の敗戦が決まった瞬間の姿には、負けた悔しさもあったが、むしろさわやかな、すがすがしさが漂うほどの潔さとしてしっかり戦った充実感にあふれていたようであった。この二人の応援団長と実行委員長に改めて拍手を送りたい。



スローガン「勇往邁進 ~ We are not what we think we are! ~」
『どんな困難も、目標に向かって突き進む。~ 私達は、自分達が思っているようなものじゃない!』のもと、精一杯今ある自分たちの力を出し切った体育祭であった。勇猛果敢に競技する生徒一人一人の姿に感動を覚え、皆でスローガン達成に向かっていく生徒一人一人に、明日の未来に逞しさと光輝く希望を感じたのではないだろうか。参観してくれた保護者や地域の方々もきっと満足した気持ちをお土産に帰ったに違いない。

主体的に取り組もう

さて、前期後半の最大の行事である体育祭を皮切りに9月、10月、11月、12月は行事が目白押しである。第2回定期テスト、生徒会選挙、新人戦、文化祭、合唱コンクール、佐倉市文化祭りレー、第3回定期テスト...そして3年生は三者面談、受験校決定と立て続けに押し寄せてくる。この行事や進路決定の行程を自分の実のあるものにしていくには気持ちを充実させて何を目標に取り組むのか、その目標を達成するために自分はどのように活動していくのか、明確にしていくことが大事である。行事での役割を全うすることで責任感を覚えるし、学級や学年から信頼という大切な徳を積み重ねることもできる。

ハードルは高くてもまずは挑戦する気持ちが大事である。学習では、計画的で、持続的な取り組みができる人になってもらいたい。そして、できれば主体的取り組みができる、人に教えてもらうばかりでなく、自ら課題を求めていけるそんな生徒を目指してほしい。「生きる力」「生き抜ける力」は、学校目標の『汗をかく』ことからしかつけることができないのだから...。



全国各地でゲリラ豪雨による被害が相次ぎ、人ごとではないように感じました。夏季休業が終了し、生徒の元気な声が教室やグラウンドに戻ってきました。この夏は3年生にとって最後の大きな部活動の大会、「総合体育大会」がありました。南中に入学してから約2年半あまり、毎日練習を重ねてきた成果をいかに発揮した大会でした。特に今年は生徒達の姿を見ていて本当に気持ちが良く感動的な気持ちにさせられた場面が多く見られた大会でもありました。努力を重ねた日々の活動の中に技術的な向上が見られたことは当然ですが、何よりも人生の宝として生徒達が得たものは、試合の勝ち負けという結果よりも、「仲間と協力し合い、苦しいことに負けない強い心や精神的な強さを身につけたこと」だと思います。

実に生徒達は頑張り、生き生きと躍動的に活躍してくれました。このことは、これまで生徒達の活動を陰で支えていただいた保護者の皆様の存在があるからこそと断言いたします。感謝の気持ちを忘れず燃え尽くした3年生でした。1、2年生は、3年生の活躍する姿を見て、今度は私たちが...という気持ちを確実に持ったことと思います。

ー佐倉市いじめ防止子どもサミットに参加してー

R・U

先日、自分はいじめ防止サミットという佐倉市の企画に参加しました。目的はいじめによる「行きたくない」「行けない」と悩み、辛く苦しい思いをする生徒を出したくない。という考えからサミットは開かれました。中学生2名、小学生3人ずつ六班に分かれ、「されたら嫌だと思うこと、それにつながることは何か」「いじめがおこらないようにするには何ができるか」ということ

を話し合いました。小学生の取り組む姿勢は、自分たち以上に真剣で、活発に意見を
出していました。

班で出た結論は「しない、させない、許さない」でした。「しない」といのは自分
が気をつけ、相手の気持ちを考えるという事で、一人一人がそうすれば、そもそ
いじめはなくなります。次に「させない」です。いじめる方は大抵、「相手がそう考
えてとは知らなかったというのがよく聞きますが、じゃあ、自分がその場面に遭遇
した時第三者としてその事態を防げるか。という事です。勇気がいるかもしれませんが
その当事者たちが、相方とも道を踏み外さないためにも、声をかけ、未然に防止しま
しょう。「許さない」というのにはいじめが起こった後の話です。

「いじめ」というと罪悪感がうすいかもしれませんが、「差別」
とか「虐待」という言葉にすると、とても汚く荒々しい言葉にな
ります。だから、その行為を許さない。そうさせてしまった自分
も、他人事という甘い考えを許さない、という意味での結論でした。

この意見を出したのは小学生で、聞いた時はしっかりとこの問題に
向き合っているな、と思いました。なので、この会議に参加して思った事は自分たち
も意識を高めなければと思いました。

辛く苦しい思いをする生徒を出さないためにも、「差別」や「虐待」をしない・さ
せない・許さないを徹底しましょう。



9・10月の予定

日	曜日	内 容	日	曜日	内 容
15	月	敬老の日テスト前諸活動停止	1	水	学級優先
17	火	最終下校5：30 生徒会役員選挙公示	2	木	全校評議会 選挙運動開始
18	木	第2回定期テスト	3	金	家庭教育学級
19	金	第2回定期テスト 職員会議	7	火	生徒委員会 実力テスト(3年生)
23	火	秋分の日	8	水	学級優先 選挙運動終了
24	水	学級優先	9	木	生徒会本部役員選挙
28	日	佐倉国際スピーチコンテスト	10	金	安全点検・英語検定
			14	火	前後期入れ替え式

生徒たちの活躍 ~たくさんの活躍が見られました~

- 印旛郡市総体陸上競技大会
共通男子 400m 優勝 M・K
共通男子 200m 2位 M・K
1年女子 100m 7位 A・K
- 千葉県総体陸上競技大会
共通男子 200m 5位 M・K
1年女子 100m 出場 A・K
- 全日本通信陸上競技大会
共通 400m 3位 M・K
- 関東中学校陸上競技大会
共通 400m 2位 M・K
- 全国中学校陸上競技大会
共通 400m 準決勝進出 M・K

- 印旛郡市総体水泳競技大会
400m個人メドレー 8位 Y・N
100m平泳ぎ 4位 R・N
400m団体メドレー 6位 M・I / Y・N / R・N / H・K
400mフリーリレー 6位 M・I / N・A / H・K / Y・N
- 印旛郡市総体卓球大会
男子シングルス 県大会出場 H・S
- 印旛郡市総体男子バレーボール大会
5位(県大会出場)
ちばジュニア強化指定選手 Y・K
千葉県優秀選手賞 Y・K
- 印旛郡市総体女子バレーボール大会
ちばジュニア強化指定選手 A・Y
- 印旛郡市総体サッカー大会(県大会出場)
優勝 Y・K / J・N / S・F / K・M / K・S / Y・A
M・M / T・M / R・U / S・M / S・A / H・H
J・K / S・N / N・O / S・M / H・S
M・S / Y・T / K・I / K・O / Y・M / R・Y
- 印旛郡市剣道大会(県大会出場)
男子個人戦の部 3位 Y・I
- 印旛郡市中学校美術部作品展
優秀賞 K・O
- 県愛鳥週間ポスターコンクール
県教育長賞 K・O
- 第62回千葉県小中高校席書大会〔毛筆〕
千葉日報社賞 H・E
書星会賞 H・I / S・I / Y・I / O・K / A・Y
特 選 Y・I / M・N / A・Y / M・T / K・S
N・M / S・S / M・K / M・N / T・I
R・E / M・F / C・F
金 賞 A・O / I・N / T・K / M・H / H・I
T・I / M・S / N・S / A・A / S・N
T・F / A・I / M・M / H・M / A・H
M・S / A・H / Y・G / T・O / S・I

- 印旛郡市新人水泳大会
50M背泳ぎ 優勝 S・D
200M背泳ぎ 優勝 S・D
- 四街道市・佐倉市中学校新人卓球大会
1年シングルの部 優勝 D・K



~ 体育祭特集 ~

一人ひとりの頑張りと応援団のリーダーシップでおこなわれた感動した体育祭
でした。体育祭で経験したことを糧に良き伝統として繋いでいきましょう！



堂々とした行進！これからの
勝負に緊張？

吹奏楽部による演奏。素晴らしい！



統制がとれた紅白のパフォーマンス



おおムカデ。声を
出し足を揃えて頑張
りました。



戦い後の知力・体力を使った満足感の一コマ



イカダ流し。義経のように軽やかに



台風の日。心を一つにして！



応援賞の白組



総合優勝の紅組